

## 4 成果普及

### 4.1 広報・普及

(1) 報道発表一覧

計 40件

報道発表日	報道内容	担当部門、グループ
H13.4.3	太陽面で最大級のフレア（表面爆発）が発生（速報）	電波計測部門平磯太陽観測センター
H13.4.10	HEMT（高電子移動度トランジスタ）の世界最高速記録更新 一産・学・官の連携による研究の成果一	無線通信部門ミリ波デバイスグループ
H13.4.10	インターネット上での日本標準時提供実験開始	電波計測部門日本標準時グループ
H13.4.26	我が国初の全身数値モデルを共同開発 一様々な電波利用状況に対してきめ細かな安全性評価が可能に一	無線通信部門電磁環境グループ
H13.5.15	フォトニック結晶型半導体レーザの実現 一世界最小レーザの発振確認一	基礎先端部門光情報技術グループ
H13.5.17	独立行政法人通信総合研究所第100回研究発表会の開催一独立行政法人発足記念シンポジウム一	企画部広報室
H13.5.17	独立行政法人通信総合研究所発足記念式典並びに研究本館竣工式典の開催について	企画部広報室
H13.5.22	二枚貝の平滑筋のキャッチ収縮を世界ではじめて試験管内で再現、その分子機構を解明	基礎先端部門生体物性グループ
H13.5.23	情報通信危機管理研究開発施設による研究開発に着手	情報通信部門非常時通信グループ
H13.6.5	ハイビジョンの4倍の画像処理技術を世界に先がけて実現	無線通信部門画像グループ
H13.6.5	次々世代の光符号分割多重方式で超テラビット伝送実験に成功	基礎先端部門超高速フォトニックネットワークグループ
H13.6.13	BRAINシステムが民間標準規格（ARIB STD-T74）に採用	無線通信部門無線統合ネットワークグループ
H13.7.3	通信総合研究所施設一般公開のお知らせ一興味から感動へ、広がる科学と技術の世界一	企画部広報室
H13.7.6	世界最高速の実時間VLBI実験に成功一実時間VLBI・データ速度1ギガビット毎秒を達成一	電磁波計測部門宇宙電波応用グループ
H13.7.24	CRL北九州宇宙通信地球局開設一2002年ワールドカップの大パノラマ映像伝送を日韓高速衛星通信で実現へ一	無線通信部門鹿島宇宙通信研究センターモバイル衛星通信グループ
H13.8.31	大規模災害に対応できる安否情報提供サービスの試験運用を開始	情報通信部門非常時通信グループ
H13.9.7	遠距離海洋レーダによる海流観測を開始一黒潮などの大規模海流観測により、日本の気象変動の解明へ一	電波計測部門沖繩亜熱帯計測技術センター
H13.9.11	第3回成層圏プラットフォームワークショップ（SPSW2001）開催のお知らせ	SPSW2001実行委員会事務局
H13.9.12	米国大規模同時多発テロに係る被災者支援安否情報登録検索システム（IAAシステム）の運用開始	情報通信部門非常時通信グループ
H13.9.13	光時分割多重／波長多重のハイブリッド階層化ネットワークに画期的な進展	基礎先端部門超高速フォトニックネットワークグループ
H13.9.13	九州長波局（はがね山標準電波送信所）本格運用開始	電波計測部門日本標準時グループ
H13.10.9	CRLアジア交流プログラム日中自然言語処理共同研究促進会議 特別講演会 中国の13中核研究機関の言語処理研究の現状開催のお知らせ	情報通信部門自然言語グループ
H13.10.11	分子のナノ構造を自己組織化によって固体表面上で作成・制御一英国科学誌「ネイチャー」で発表一	基礎先端部門ナノ機構グループ
H13.10.18	全球降水観測計画（Global Precipitation Measurement: GPM）シンポジウム開催のお知らせ	電磁波計測部門降水レーダグループ

報道発表日	報道内容	担当部門、グループ
H13.10.18	472GHz世界最高速トランジスタの開発に成功	無線通信部門ミリ波デバイスグループ
H13.10.22	総務省本省ロビーに「日本標準時」表示システムを設置—オープニングセレモニー開催—	企画部広報室
H13.10.23	独立行政法人通信総合研究所第101回研究発表会の開催—次世代の情報通信ネットワークに向けて—	企画部研究連携室
H13.10.25	CRL、技術開発成果で独立行政法人化後初めての海外ビジネス—ドイツ地図測地局へ、VLBI観測装置を有償譲渡—	電磁波計測部門精密測位技術グループ
H13.11.1	1個のイオンを用いて光電場の超精密観測に成功—量子情報通信やナノ技術への応用に期待— —英国科学誌「ネイチャー」で発表—	基礎先端部門レーザー新機能グループ
H13.11.6	周波数利用効率1.6bit/s/Hz、世界最高密度の光多重伝送に成功—Cバンド波長帯で世界最大の毎秒6.4テラビットの伝送容量を達成—	基礎先端部門超高速フォトニックネットワークグループ
H13.11.6	ブロードバンド時代の高品質映像・音声配信を可能とする技術を市販PC上で実現	情報通信部門超高速ネットワークグループ
H13.12.6	人間の歩行を精密に再現する進化型3次元CGシミュレーション—リハビリ・義足設計に応用可能な歩行シミュレーションシステムの開発に成功—	情報通信部門画像グループ
H14.1.9	世界最高データレートのVLBI実験に成功—VLBIで2ギガビット毎秒の観測に成功—	電磁波計測部門宇宙電波応用グループ
H14.1.11	CPT2002：第5回次世代光技術に関する国際ワークショップの開催—次世代光ネットワークを構築する革新的技術開発をめざして—	基礎先端部門光情報技術グループ
H14.1.24	第2回国際VLBI事業総会をつくばで開催	電磁波計測部門宇宙電波応用グループ
H14.1.24	情報通信基礎研究フォーラムのご案内（ナノ・バイオ技術から情報通信の未来へ）	基礎先端部門関西先端研究センター
H14.3.8	高齢者・障害者の自由気ままな散策を支援—道路状況監視システムと協調し、危険を回避する乗り物の初期モデルを開発—	情報通信部門ユニバーサル端末グループ
H14.3.8	超高速無線アクセスシステムの長距離通信実験に成功	無線通信部門無線統合ネットワークグループ
H14.3.12	通信総合研究所の戦略的な広報活動に向けた検討会議を設置—外部有識者を迎え、本格的な広報活動強化へ乗り出す—	企画部広報室、企画室
H14.3.20	世界最先端の参加型自動放送システム：パブリック・オピニオン・チャンネル（POC）を開発、実証実験へ	情報通信部門西田結集型特別グループ

- (2) 取材対応 計 167件
- (3) CRLニュース 第301号～第312号
- (4) 研究発表会
  - ① 第100回研究発表会（春）「独立行政法人発足記念シンポジウム」  
大手町サンケイプラザ（平成13年6月13日、6件の講演と展示）参加者 418名
  - ② 第101回研究発表会（秋）「次世代の情報通信ネットワークに向けて」  
小金井本所（平成13年11月14日、7件の講演と展示）参加者 238名
- (5) 施設一般公開  
本所（平成13年7月27及び28日、46項目の展示・催し）来場者 3,210名  
本所以外の来場者数：関西 1,000、鹿島 1,423、平磯 428、稚内 50、犬吠 48、沖縄 102
- (6) 科学技術講演会  
テーマ「21世紀の暮らしをささえるインターネット」  
小金井市公会堂（平成13年4月21日、2件の講演、展示）参加者88名

## (7) 研究成果外部出展一覧

計 20件

開催時期等	イベント名	開催場所	主催者	出展物
H13.6.5~7	デジタルコミュニケーション2001	博多スターレオン展示場	デジタルコミュニケーション2001実行委員会	手話アニメーション 日本標準時 3次元SAR
H13.7.7~9.30	うつくしま未来博	福島県須賀川市	うつくしま未来博協会	手話アニメーション 日本標準時
H13.7.14~9.30	山口きらら博	山口県阿知須町	21世紀未来博覧会協会	メガネなし立体ディスプレイ 手話アニメーション 7/27~29: ユーザ搭乗型移動端末
H13.7.20~22	デジタル夢ワールド	仙台プラザ	東北放送	ミリ波無線LAN
H13.7.20~29	ロボフェスタ関西2001	大阪国際会議場	ロボット創造国際競技大会2001実行委員会、他	インファノイド
H13.7.31	ロボフェスタ生駒	奈良先端科学技術大学院大学/高山サイエンスプラザ	生駒市21世紀及び市政30周年記念事業実行委員会	インファノイド
H13.7.26~9.24	3次元世界への夢	山口県立山口博物館	山口県立山口博物館	3次元SAR
H13.8.22~23	子ども霞ヶ関見学デー	総務省1階ロビー	各省庁	日本標準時 CRL-01
H13.10.3~5	第54回日本胸部外科学会総会 学術企画展示発表会	大阪国際会議場	第54回日本胸部外科学会総会	肺癌検診用X線CT像の計算機支援画像診断システム 手話システム
H13.10.6~14	ロボフェスタ神奈川2001	相模原市銀河アリーナ	ロボット創造国際競技大会2001実行委員会、他	人工衛星のお世話をするロボット 一軌道上保全システム
H13.10.26~27	北陸技術フェアテクノフェア2001	福井県産業会館他	技術交流・テクノフェア実行委員会	電波を放射する発振器
H13.11.8~11	全国マルチメディア祭2001 inやまなし	甲府市アイメッセ山梨	全国マルチメディア祭2001 inやまなし実行委員会	手話アニメーション さわれる立体3Dディスプレイ 3次元SAR パラボラアンテナ アニメーションの原理 風船電話
H13.11.13~15	国際新技術フェア2001	東京国際展示場東ホール	日刊工業新聞社	10GHz帯域高感度光変調デバイス 適合型コミュニケーション技術 超リアルティ3次元CG通信技術 光通信用ノイズキャンセラー
H13.11.16~25	ロボフェスタ神奈川2001	パシフィコ横浜	ロボット創造国際競技大会2001実行委員会、他	インテリジェント・シティ・ウォーカー
H13.12.12~14	マイクロウェーブ展	パシフィコ横浜	電子情報通信学会APMC国内委員会	成層圏プラットフォーム 準天頂衛星 ETS-VII用フェイズドアレイアンテナ
H14.1.18~19	2002年北海道技術・ビジネス交流会	アクセスサッポロ	北海道技術・ビジネス交流会実行委員会	手話システム 技術移転
H14.2.23~24	たのしい電波教室	栃木県子ども総合科学館	関東総合通信局	パラボラ なんでもスピーカー
H14.3.6~8	国際ナノテクノロジー総合展・技術会議	幕張メッセ	nano tech実行委員会	ナノ機構Gの研究紹介 CRLの紹介
H14.3.14~15	ミリ波国際シンポジウム	YRP	T S M M W 2 0 0 2 Committee	ミリ波アドホック無線アクセスシステム ミリ波広帯域無線アクセスシステム ミリ波映像伝送システム ミリ波広帯域アクセスネットワーク
H14.3.18~20	2002名古屋ナノテク国際フォーラム展示フェア	名古屋国際会議場	2002名古屋ナノテク国際フォーラム (NNIF2002) 実行委員会	ナノ機構Gの研究紹介 CRLの紹介

(8) 見学者

310件 2,943名 (内 小金井本所 78件 887名)

(9) サイエンスキャンプ

本所 (平成13年8月7日～8月9日) 参加者: 男子4名、女子8名 合計12名

Aコース: 「次世代インターネットを体験しよう」

指導: 超高速ネットワークグループ

Bコース: 「レーザーによる原子の周波数測定」

指導: 原子周波数標準グループ

Cコース: 「超電導センサーによる脳磁界計測とマイクロ波通信技術の体験」

指導: ミリ波デバイスグループ、光情報技術グループ